# 出願理由書

|  |
| --- |
| 以下の内容について、1000字程度（10.5ポイント，1ページ以内）で記述してください。 超域イノベーション博士課程プログラムの本履修生に出願する者（準履修生を併願する者を含む）は、Advancedコースも含め本プログラムに出願する理由を、準履修生に出願する者は、本プログラムのBasicコースに出願する理由を、本プログラムの教育目標や各コースのディプロマポリシーを熟読した上で、大学院での学修・研究・活動を通してどのように成長し、さらに社会においてどのような人材になりたいかについてのビジョンや希望を踏まえつつ、記述してください。  その際、あわせて、Basicコースのアドミッションポリシーを熟読した上で、これまでに特筆すべき社会活動での取り組みなどがあれば、その中で発揮された自分の能力や、活かされた長所や強みを踏まえて、説明してください。なお、本履修生に出願する者は、その内容を示す書類等を参考資料として様式4に添付することができます。 （1000字程度，10.5ポイント，1ページ以内） |

# 研究計画書・研究業績一覧

|  |
| --- |
| (1)と(2)の内容について、各500字程度（合計1000字程度，10.5ポイント, 2ページ以内）で記述してください。なお、説明は他分野の大学院１年次生でも理解できるような分かりやすいものにしてください。必要であれば図表等を含めてかまいません。現在在籍している研究科での研究テーマについて、学部での卒業論文の内容を前提にしつつ、修士論文の計画までを踏まえて、適宜関連する資料などを引用しながら、説明してください。（１）で記述した研究テーマの【背景】、【内容】、【社会的意義】について、明記してください。（合計1000字程度，10.5ポイント, 2ページ以内） |

**研究業績一覧**

|  |
| --- |
| 古いものから順に通し番号を付して記載してください（1ページ以内）。   1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）又は商業誌における論文、解説、総説   査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。  著者（受験者名に下線）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。   1. 著書   著者（受験者名に下線）、書名、出版社名、発行場所、巻号、全頁数（分担の場合は担当頁数）、発行年を記載してください。   1. 国内外の学会、会議における発表   口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。  著者、題名、発表した学会名、場所、月・年を記載してください。   1. その他（特許、受賞歴等） |

**成績証明書**

2023年3月（2022年度末）以前に在籍していた教育機関のうち、直近に在籍していた教育機関での最新の成績証明書またはこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したもの（いずれも発行日から12ヶ月以内のものに限る）を提出してください。

その際、成績証明書はスキャン等によりPDFデータへ変換し、この用紙を表紙とした電子データとして提出してください。成績証明書のPDFデータは文字が読み取り可能な画質としてください。

# 参考資料

以下の説明（募集要項の「6. 出願に際して提出する書類」の注12に準拠）を読み、該当する参考資料を、スキャンするなどした電子データで提出してください。なお、添付する参考資料がない場合には、下記の「□ 参考資料なし」へチェックを記入し、この用紙を提出してください。

* 添付書類なし

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

出願書類として、社会活動、学業や研究活動などの諸活動についての下記のような資料（複数可）を提出することができます。提出するものがない場合は表紙のみを提出してください。

* 諸活動の成果物。社会活動であれば既存の報告書等（応募者自身が執筆したものを含む。写しの提出も可）。研究活動であれば、学術雑誌もしくは国際会議のプロシーディングに掲載された論文等（掲載予定のものも可）。ただし、卒業論文あるいはそれに類するものを除く。
* 諸活動の関係者による推薦書。様式は任意であるが、推薦者が厳封したものに限る。指導教員である者が指導教員以外の立場で作成する推薦書は本様式の参考資料として提出することができます。
* 新聞や雑誌等での当該活動に関連する記事のコピー。
* 特筆すべき資格や受賞歴、外国語運用能力を示す検定試験のスコアなどについて、これらを証明する書類のコピー。
* 外国語運用能力を示す書類は下記のA〜Cを参照のこと。

1. 英語を含む運用可能な外国語（日本語を母語としない者にあっては日本語を含む）の能力について、それを示すことができるような、国際会議等での発表、外国語での論文等の執筆、その他の実績（留学経験、学部での外国語科目の成績等）を記してください。なお、その実績が分かる資料があれば、スキャンするなどした電子データを提出してください。
2. 外国語の検定試験を受験したことがあり、そのスコア・成績を示すことができる場合は、検定試験の名称とスコア・成績を記してください。なお、そのスコア・成績を示す資料のコピーを、スキャンするなどした電子データで提出してください。
3. 日本語を母語としない者にあっては、日本語の能力を示すことができる日本語の検定試験のスコア・成績を記してください。なお、そのスコア・成績を示す資料のコピーを、スキャンするなどした電子データで提出してください。（日本語を母語としない者は、本C項目に関する資料の添付は必須です。）